

## 第 1. 飯塚市コミュニティ交通の概要

### 1. 飯塚市コミュニティ交通の沿革

飯塚市のコミュニティ交通における沿革は次のとおりです。

平成 18 年（2006 年）3 月	旧飯塚市、旧穂波町、旧筑穂町、旧庄内町、旧穎田町の 1 市 4 町が合併し、新市制の現飯塚市が発足。旧 4 町のコミュニティ交通の運行を引き継ぐ。
平成 20 年（2008 年）	「飯塚市地域公共交通総合連携計画」を策定する。
平成 21 年（2009 年）4 月	旧 4 町のコミュニティ交通を見直し、定時定路線型のコミュニティバスの実証運行を開始する。（全 11 路線、運賃 100 円均一）
平成 22 年（2010 年）4 月	コミュニティバスの運行を 11 路線から 13 路線に拡大する。
平成 23 年（2011 年）	「飯塚市生活交通ネットワーク計画」を策定する。
平成 24 年（2012 年）4 月	コミュニティバスの運行を 13 路線から 3 路線に再編する。 （全 3 路線、運賃 200 円均一） デマンド型予約乗合タクシーの運行を開始する。 （全 8 地区 11 台体制、運賃 300 円均一）
平成 26 年（2014 年）	「飯塚市地域公共交通網形成計画」を策定する。
平成 27 年（2015 年）4 月	コミュニティバス及び予約乗合タクシーに加え、中心市街地において街なか循環バスの実証運行を開始する（3 年間）。 （全 3 路線、運賃 100 円均一）
平成 30 年（2018 年）3 月	「第 2 次飯塚市地域公共交通網形成計画」を策定する。
平成 30 年（2018 年）4 月	コミュニティバスと街なか循環バスを統合し、コミュニティバスを全 4 路線体制による運行とする。
令和元年（2019 年）10 月	JR 九州バス（直方線）の一部区間廃止に伴い、宮若市と共同でコミュニティバス宮若・飯塚線の運行を開始する。

### 2. 飯塚市コミュニティ交通の概要

令和 2 年度飯塚市コミュニティ交通の運行概要は次のとおりです。

#### (1) 予約乗合タクシーの概要

##### ▼予約乗合タクシーの概要

利 用 者	どなたでも利用可（ただし事前に利用者登録が必要）
運 行 地 区	市内 8 地区（穎田・鯉田、穂波、筑穂、庄内、二瀬、幸袋、飯塚東、鎮西） ※立岩、飯塚・片島、菰田地区では運行していない
運 行 日	平日のみ
運 休 日	土・日・祝日・お盆（8/13～8/15）・年末年始（12/29～1/3）
運 行 時 間	8：00～17：00（休憩時間有り）
運 賃	一般：300 円均一、小学生以下：無料、障がい者：200 円均一
乗 降 場 所	運行エリア内において、安全に乗り降りできる場所ならどこでも可
通常のタクシーと異なる点	・利用するためには事前に利用者登録が必要である ・乗車予定時刻の 1 時間前までに電話予約が必要である ・一部地区外で行ける施設を除き、各タクシーの運行地区内でのみ乗降が可能である ・他の予約者と乗り合いになることがあるため、目的地に直行しないことがある ・予約の混雑状況によっては、利用（予約）できないことがある ・1 台に複数人で乗車しても、1 人につき 300 円の運賃が必要である

##### ▼事業者一覧（運行業務）

運行地区	号車	業務委託事業者名
穎田・鯉田地区	8 号車	安全タクシー有限公司
幸袋地区	9 号車	
穂波地区	10、11 号車	穂波タクシー株式会社
筑穂地区	3、4、5 号車	有限公司 Shonai 観光
庄内地区		
飯塚東地区		
鎮西地区（八木山地区以外）	2 号車	総合交通株式会社飯塚営業所
二瀬地区	6 号車	
鎮西・二瀬地区（主に八木山地区）	7 号車	

##### ▼事業者一覧（予約受付業務・予約システムの管理運営）

事業項目	業務委託事業者名
予約受付業務	株式会社福岡ソフトウェアセンター
予約管理システム運営	順風路株式会社

(2) コミュニティバスの概要

①飯塚市単独運行分

▼概要

利用者	どなたでも利用可
運行路線	穎田・飯塚線：6便/日 庄内・飯塚線：6便/日 筑穂・飯塚線：7便/日 高田・鎮西線：7便/日 の計4路線
運行日	平日のみ
運休日	土・日・祝日・お盆（8/13～8/15）・年末年始（12/29～1/3）
運行時間	概ね8：30～17：30の別途定められた時刻
運賃	一般：200円均一、小学生以下：無料、障がい者：100円均一
乗降場所	バス停

▼事業者一覧

運行路線	業務委託事業者名
穎田・飯塚線	誠心物流株式会社
庄内・飯塚線	有限会社 Shonai 観光
筑穂・飯塚線	誠心物流株式会社
高田・鎮西線	有限会社 Shonai 観光



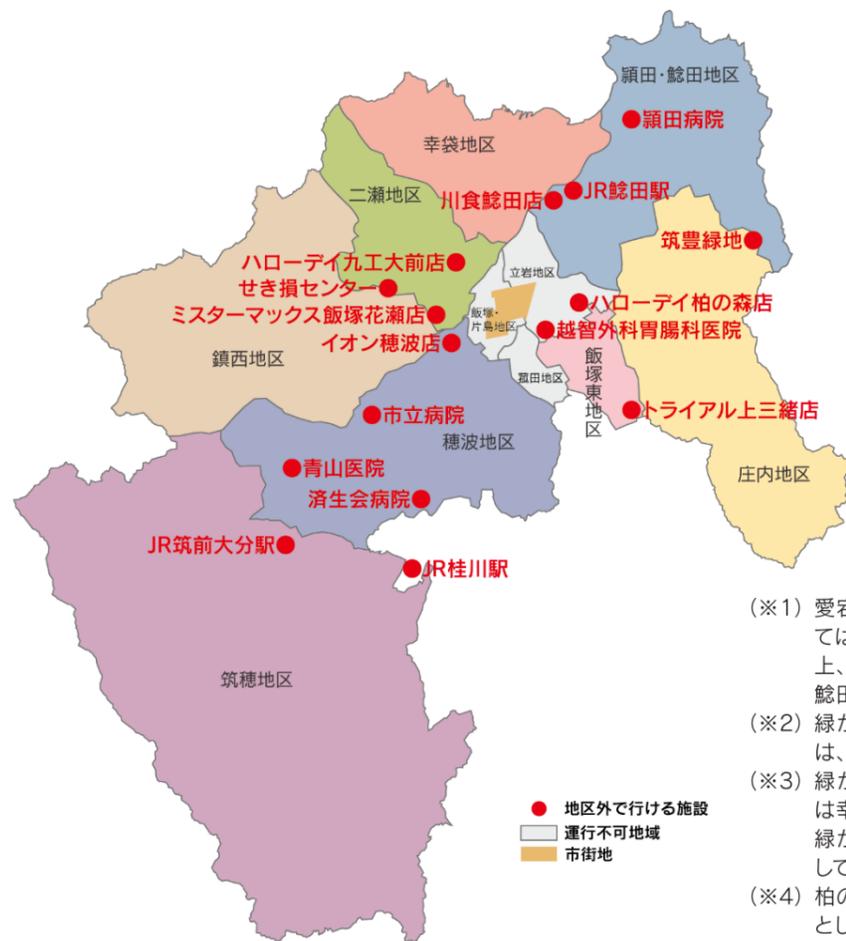
▲ コミュニティバスの路線図

【地区内】

【地区外で行ける施設】

穎田・鯉田地区	勢田・口原・佐與・鹿毛馬・鯉田・立岩（※1）	●筑豊緑地（全敷地内）
穂波地区	堀池・秋松・忠隈・南尾・平恒・染市・天道・太郎丸・棕本・久保白・高田・舎利蔵・津原・安恒・椿・弁分・小正・若菜・校国	●JR筑前大分駅
筑穂地区	阿恵・内野・北古賀・桑曲・大分・内住・長尾・平塚・馬敷・筑穂元吉・山口・弥山	●済生会病院 ●青山医院 ●JR桂川駅
庄内地区	高倉・筒野・赤坂・入水・山倉・綱分・有安・多田・仁保・大門・庄内元吉・有井	●筑豊緑地（全敷地内） ●トライアル上三緒店
二瀬地区	川津（※2）・横田・伊岐須・伊川・相田	●せき損センター（全敷地内） ●イオン穂波店（全敷地内）
幸袋地区	幸袋・中・庄司・津島・柳橋・目尾・吉北・川津（※3）	●穎田病院 ●JR鯉田駅 ●川食鯉田店 ●ハローデイ九工大前店
飯塚東地区	上三緒・下三緒・柏の森（※4）	●越智外科胃腸科医院 ●ハローデイ柏の森店
鎮西地区	大日寺・花瀬・潤野・明星寺・八木山・建花寺・蓮台寺	●市立病院 ●せき損センター（全敷地内） ●ミスターマックス飯塚花瀬店

▲ 予約乗合タクシーの運行地区一覧



▲ 予約乗合タクシーの運行地区全体図

- （※1）愛宕団地自治会は、自治会としては鯉田地区であるため、運用上、愛宕団地自治会区域は穎田・鯉田地区として考えます。
- （※2）緑が丘自治会の区域を除く地域は、二瀬地区として考えます。
- （※3）緑が丘自治会は、自治会としては幸袋地区であるため、運用上、緑が丘自治会区域は幸袋地区として考えます。
- （※4）柏の森ヒルズ自治会は、自治会としては飯塚東地区であるため、運用上、柏の森ヒルズ自治会区域は飯塚東地区として考えます。

②宮若市との共同運行分

▼概要

利用者	どなたでも利用可
運行路線	宮若・飯塚線：【平日】10便/日、 【土・日・祝日・12/29～1/3】6便/日 の計1路線
運行日	年中無休
運休日	なし
運行時間	【平日】7:00～18:42、【土・日・祝日・12/29～1/3】9:30～17:02
運賃	距離変動制 4歳未満：無料、4歳以上16歳未満(中学生まで)：半額、大人が同伴の場合で小学生未満：無料、障がい者：半額
乗降場所	バス停
事業費負担	負担割合：飯塚市 1/3、宮若市 2/3

▼事業者一覧

運行路線	業務委託事業者名
宮若・飯塚線	誠心物流株式会社

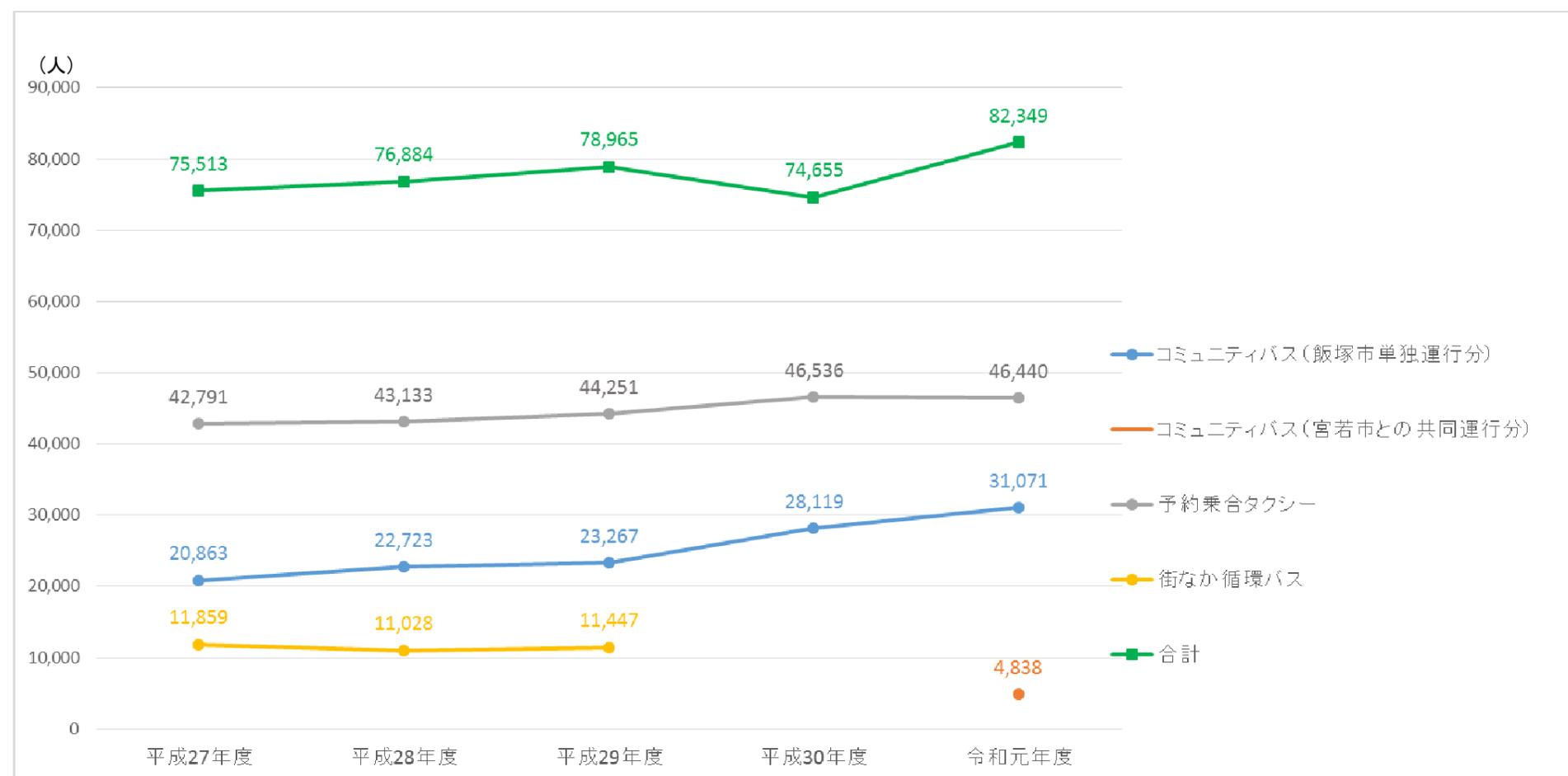


## 第2. 飯塚市コミュニティ交通の利用状況

令和元年度までの飯塚市コミュニティ交通の利用状況は次のとおりです。

### 1. コミュニティ交通全体

・令和元年10月より、宮若市と共同で「宮若・飯塚線」の運行を開始したこともあり、令和元年度のコミュニティ交通全体の利用者数は82,349人であり、7,694人増加しています。

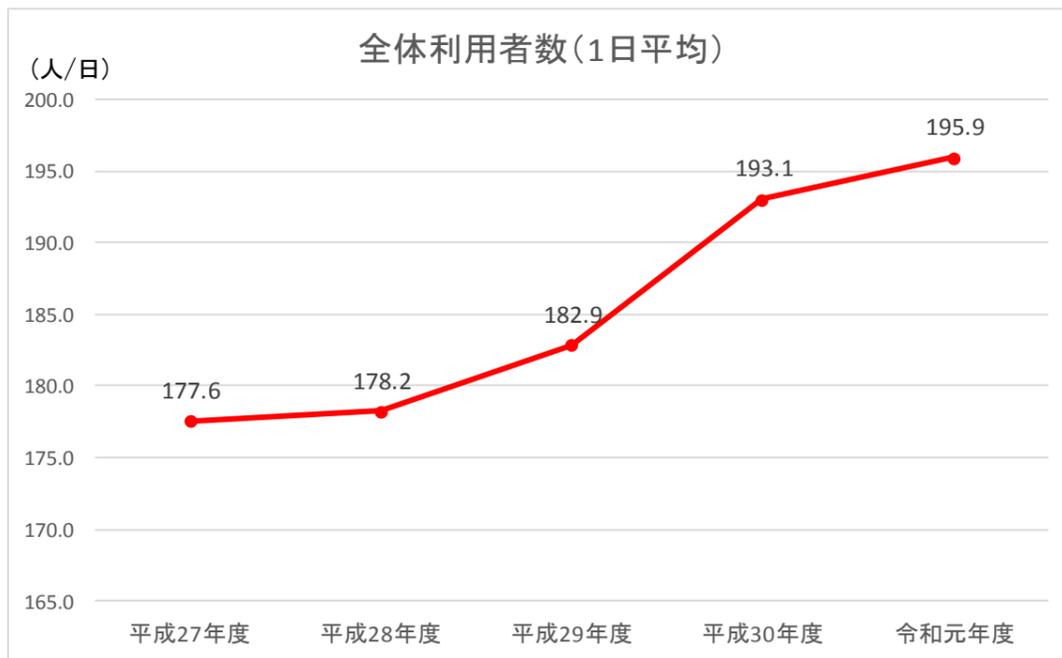
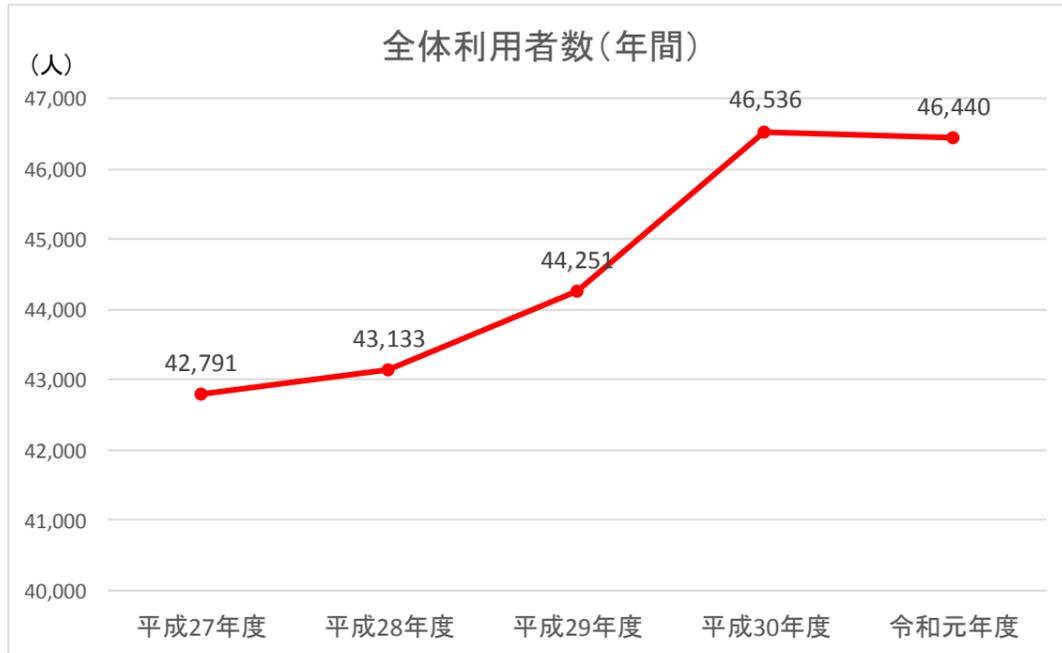


※コミュニティバス（宮若市との共同運行分）については、飯塚市内の乗降場での利用者数を使用しています。

## 2. 予約乗合タクシー

(1) 全体利用者数（飯塚東地区、庄内地区、筑穂地区、鎮西地区、二瀬地区、幸袋地区、穎田・鯉田地区、穂波地区の合計利用者数）

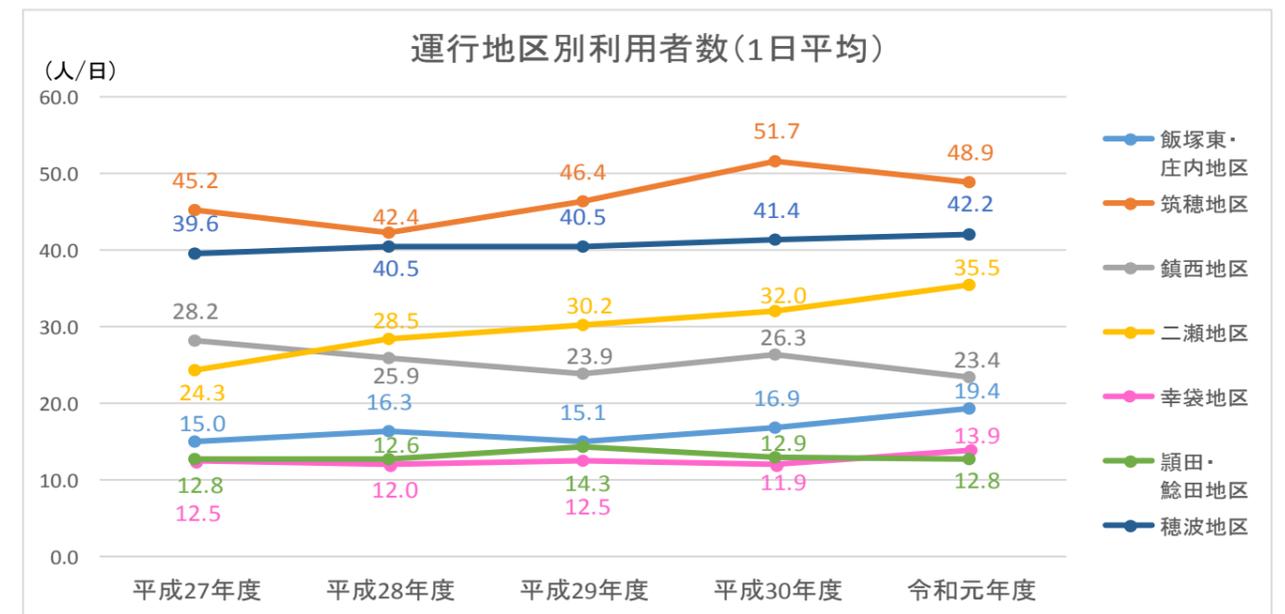
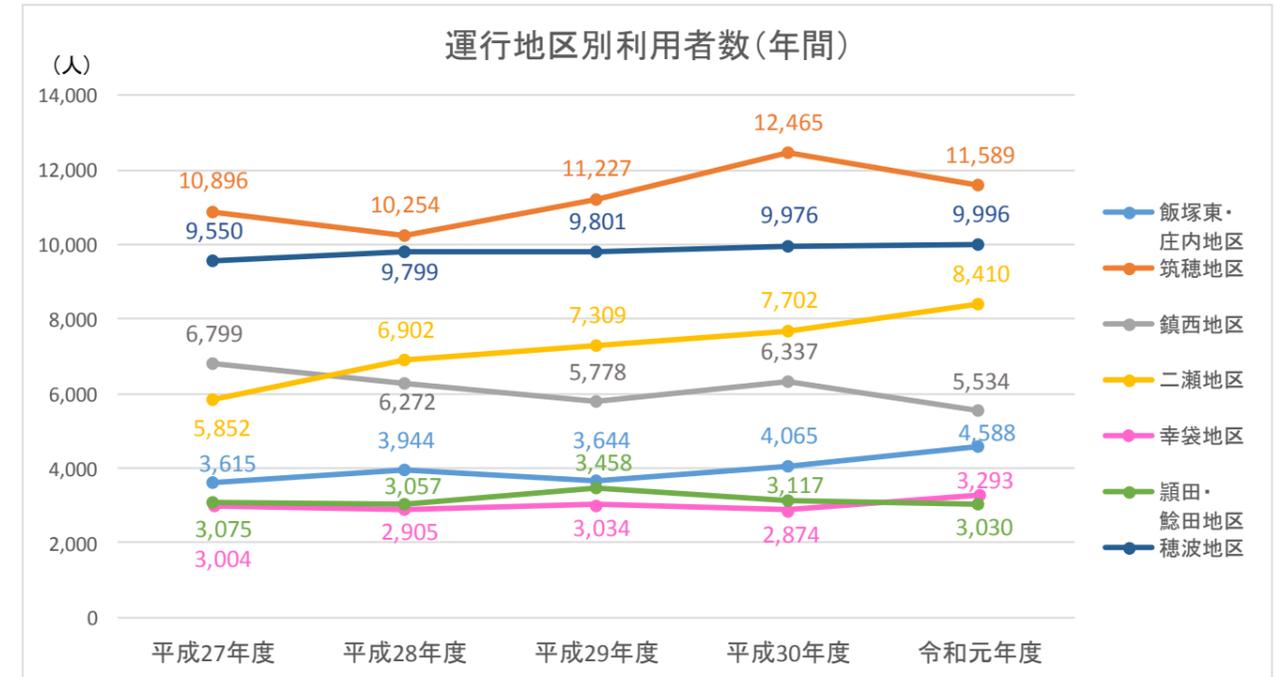
・令和元年度の利用者数は46,440人であり、前年度より96人減少していますが、1日あたりの利用者数は195.9人であり、2.8人増加しています。（運行日4日減）



(2) 運行地区別利用者数

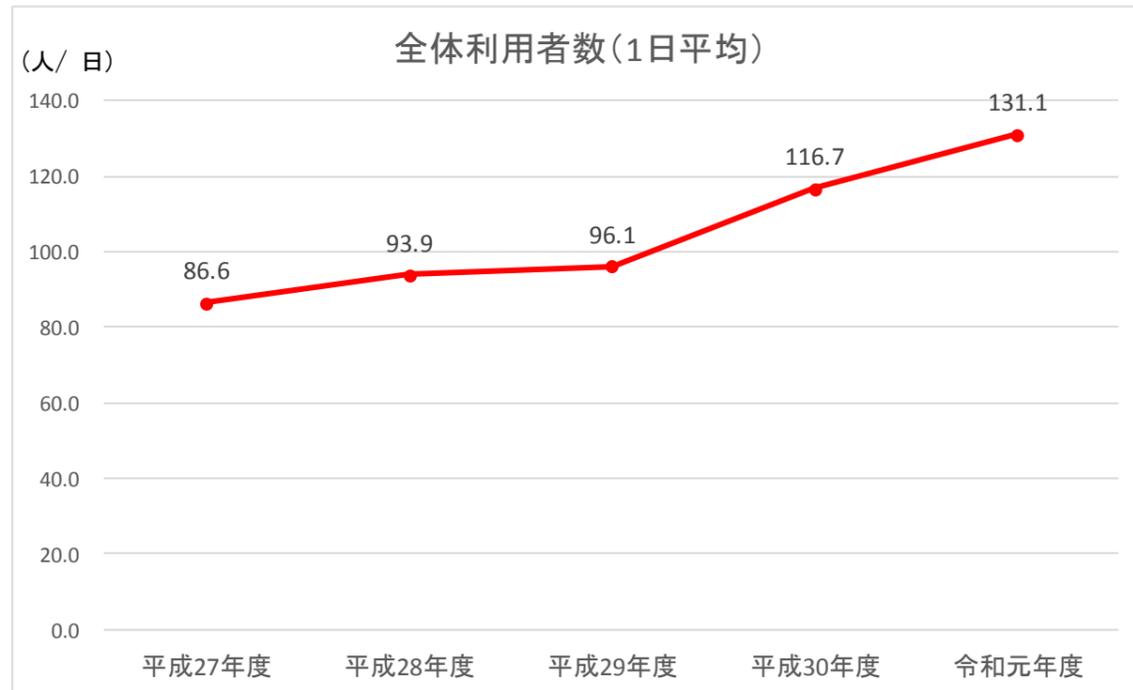
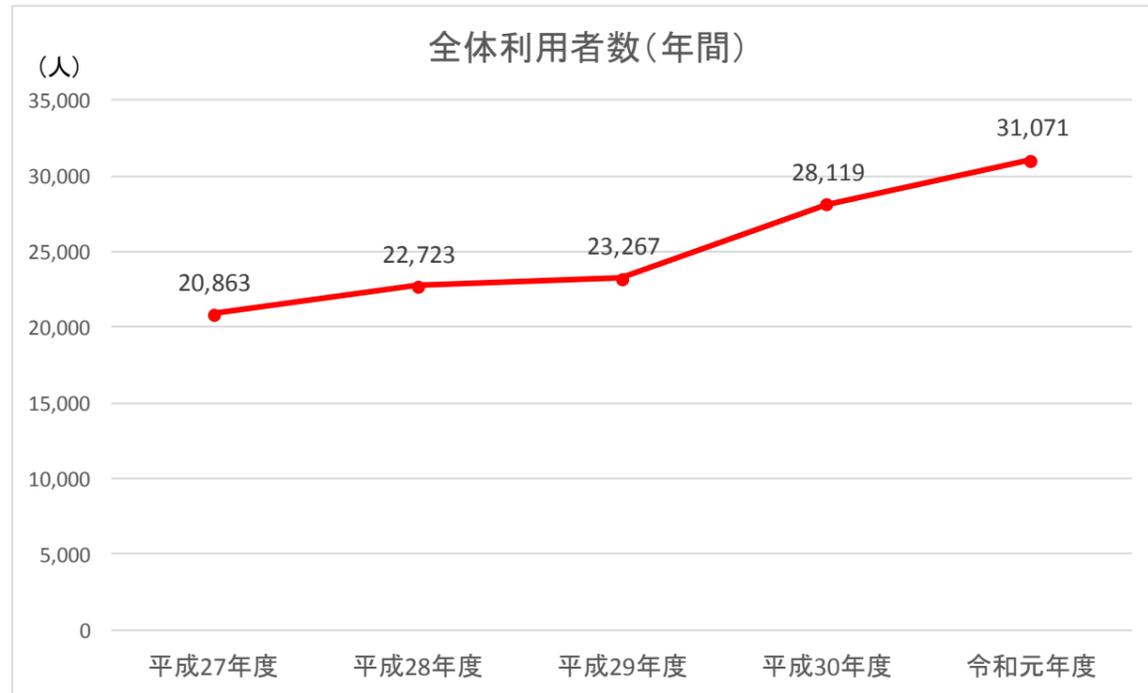
・飯塚東・庄内地区は523人、二瀬地区は708人、幸袋地区は419人、穂波地区は20人増加しています。一方で筑穂地区は876人、鎮西地区は803人、穎田・鯉田地区は87人減少しています。

・1日あたりの利用者数でも、飯塚東・庄内地区は2.5人、二瀬地区は3.5人、幸袋地区は2人、穂波地区は0.8人増加しています。一方で筑穂地区は2.8人、鎮西地区は2.9人、穎田・鯉田地区は0.1人減少しています。



### 3. コミュニティバス（飯塚市単独運行分）

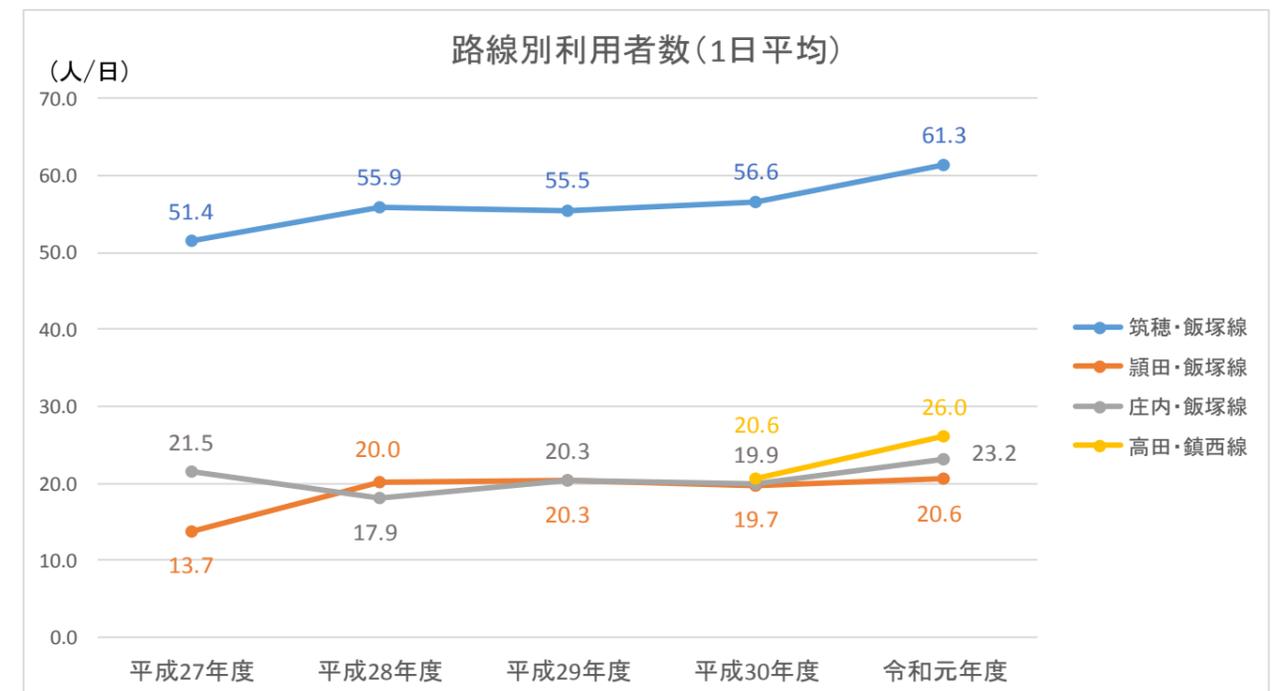
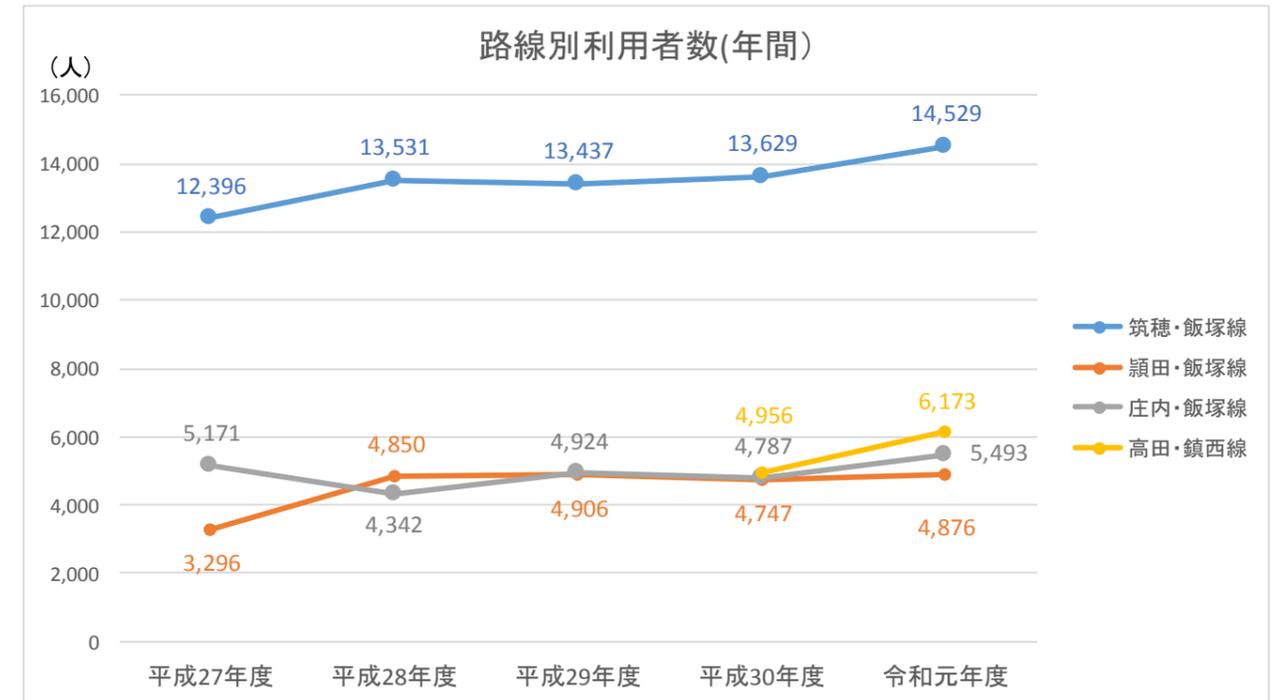
(1) 全体利用者数（筑穂・飯塚線、颯田・飯塚線、庄内・飯塚線、高田・鎮西線の合計利用者数）  
 ・令和元年度の利用者数は31,071人であり、前年度より2,952人増加しています。1日あたりの利用者数も131.1人であり、14.4人増加しています。（運行日4日減）



(2) 路線別利用者数

・筑穂・飯塚線は900人増加、颯田・飯塚線は129人増加、庄内・飯塚線は706人増加、高田・鎮西線は1,217人増加し、全路線にて利用者数が増加しています。

・1日あたりの利用者数でも、筑穂・飯塚線は4.7人増加、颯田・飯塚線は0.9人増加、庄内・飯塚線は3.3人増加、高田・鎮西線は5.4人増加し、全路線にて利用者数が増加しています。



#### 4. コミュニティバス（宮若市との共同運行分）

##### (1) 宮若・飯塚線の利用者数

- ・令和元年度の利用者数は令和元年10月からの運行を開始したため、半年で7,506人でした。
- ・令和元年度の飯塚市内の乗降場での利用者数は半年で4,838人でした。

年度別	全体利用者数		飯塚市内の乗降場での利用者数(乗車)	
	利用者数(人)	1日平均(人/日)	利用者数(人)	1日平均(人/日)
令和元年度	7,506	41.0	4,838	26.4